

介護・医療連携推進会議開催報告書

2017年 1月 24日

事業所名	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 至誠堂ホームケア24		
担当者	海鋒 英美	電話番号	023(687)0733
1 開催日時	2017年 1月 23日		13:30 ~ 15:00
2 開催場所	山形市旅籠町1-7-23 至誠堂総合ケアセンター会議室		
3 出席者	出欠		
(2) 委員 11人中 9人出席	×	A氏	利用者の家族
	○	M氏	利用者の家族
	○	K氏	木の実町6区町内会副会長
	○	T氏	旅籠町一番組町内会長
	○	T氏	第一地区社会福祉協議会会長
	○	T氏	第四地区社会福祉協議会会長
	○	I氏	至誠堂総合ケアセンター長
	○	N氏	至誠堂総合病院医療相談室係長
	×	S氏	至誠堂訪問サービスセンターコスモス所長
	○	S氏	さくら地域包括支援センター 主任介護支援専門員(センター長代理)
	○	O氏	地域包括支援センターかがやき 看護師(センター長代理)
(3) 事務局 3人出席	鈴木 悦子		至誠堂総合ケアセンター看護介護部長
	海鋒 英美		至誠堂ホームケア24管理者
	細谷 美佳		同 計画作成責任者
	庄司 恵理		同 責任者
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価	<p>①平成28年10～12月期の活動報告(市提出様式2号)。②4～12月の事業概要として、(利用者の概要、利用件数、訪問地域の実績等)の報告及びサービス提供にあたっての具体的な事例報告。③地域密着型サービス事業のため、今回の会議より利用者居住地为小学校区から中学校区への表記に変更。参加者に対し説明を行った。④訪問想定範囲外の利用者数について質問があり、現在の状況を報告、想定範囲外からの申し込みがあった場合でも柔軟に対応していく事を確認した。⑤11月の後半より、利用者数が減少してきている事について、入院が相次いだ事・死亡した方がいた事・冬期間に入り自宅での生活に不安がある利用者が比較的長めにショートステイを利用している事を報告。ショートステイを利用している利用者がいても安定的に利用者数を確保できるようにする事が課題としてあげられた。⑥今後の利用者増に向けた取り組みとして、病院を退院した方の病院に対し、自宅での生活状況をお伝えし、これまでなかなか退院に結びつかなかったケースに対しても病院看護師やMSWが定期巡回を利用した際のイメージできるような書面を随時発行していく事確認した。⑦ターミナルでお世話になっているが、医師や看護師、ホームケアが連携してケアを行って下さるため、いつでも頼れるという安心があり最期まで自宅で看たいと決心した。気持ちにも</p>		
6 要望、助言	<p>① 冬期間になり雪道による訪問の遅れなどはでているのか？</p> <p>② 訪問想定範囲外の利用者は何人いるのか？</p> <p>③ 包括支援センターでの交流会では、どのような事を行ってきたのか？</p> <p>④ ショートステイの利用期間が長めになっているとの報告があったが1ヵ月でどのくらい利用できるのか？</p> <p>⑤</p>		
7 要望、助言に対する考え方	<p>① 現在、利用者数が減ってきているため訪問と訪問の間隔が適度に開いている状態であり、定期的訪問に遅れるといった事案は発生していない。しかし、随時対応の際に道路状況などですぐには駆けつける事ができない状態ではある。しかし、緊急通報で何分頃に訪問致しますといった説明は行っている。</p> <p>② 現在のところ、2名の方が想定範囲外で利用者である。しかし、今後も想定範囲外からの申し込みがあれば柔軟に対応し受け入れを行っていきたいと考えている。</p> <p>③ 交流会では、民生委員・ケアマネ・地域の社会福祉協力員等幅広い方の参加者があった。その方たちに対し事業説明を行わせていただいた。</p> <p>④ その方の介護度により1ヵ月の支給限度基準額があるため、その中でケアマネが基本基準額を超えないように工夫しながらいろいろなサービスを組み合わせながらプランを作成している。</p>		
8 その他特記事項	<p>① 次回第1回会議は、平成29年4月24日(月)13時30分より至誠堂総合ケアセンター会議室で開催する。</p>		